

■宮負定雄 国学者。平田篤胤に入門し啓蒙的な著述後、名主辞めて門人活動に専念も、師・父死後、神仙界に。

みやおいやすお

昌平饗始・・・1797＝ 下総香取郡松沢村名主定賢の長子に生まれる。幼名門蔵。直後に曾祖父2代目佐五兵衛が死去。

げん報復・ 1806＝ 9歳：宇井包孝につき、

・・・・・・ 1810＝13歳：「住吉大明神記」を書写。
ゴロブツ拿捕 1811＝14歳：この年まで、漢学を学ぶ。
高田屋拿捕・ 1812＝15歳：高木長兵衛につき、

・・・・・・ 1815＝18歳：この年まで、数学を学ぶ。

水野忠成老中 1818＝21歳：
群書類従完結 1819＝22歳：この年、父定賢が、宇井包教とともに、平田篤胤に入門。

蝦夷地直轄終 1821＝24歳：_父にしたがって、平田篤胤に師事し、

シボト鳴滝塾 1824＝27歳：

・・・・・・ 1826＝29歳：*処女作「農業要集」の原稿を持って篤胤を訪れ、正式に入門。

シボト事件・ 1828＝31歳：_気吹舎より「草木撰種録」を出版、一大ベストセラーとなる。

富嶽三十六景 1831＝34歳：_父を継ぎ、松沢村名主となる。「民家要術」「国益本論」を著す。「民家要術」で“芋掘名主”と称する。
鼠小僧磔・・・1832＝35歳：*’役むきに不足なり、早く退役すべし’と「村用賄覚帳」表紙に書き、以後名が消える。
天保大飢饉始 1833＝36歳：
高島砲術・・・1834＝37歳：この年、定賢が幽学に神文を入れる。

・・・・・・ 1836＝39歳：_長男源蔵後を継がせて、正式に名主を辞し、以後、主として江戸で平田門人として活躍。

大塩平八郎乱 1837＝40歳：
適塾ホブツ・ 1838＝41歳：_この年が師篤胤訪問回数のピークとなる。
蛮社の獄・・・1839＝42歳：「蔵六石」を著す。

天保改革弾圧 1842＝45歳：
順天堂始・・・1843＝46歳：_この年、師篤胤が死去。

阿部正弘首座 1845＝48歳：「下総名勝図絵」まとまる。
孝明天皇・・・1846＝49歳：「奇談雑史」を著す。

尊徳報徳論・ 1851＝54歳：「蔵六集」を著す。

ペリー来航・ 1853＝56歳：_父定賢が死去したため、実家に戻る。「富草」を著す。居心地良くなく、
開国開港・・・1854＝57歳：*伊勢へ出立して神仙界と往復、和歌山で参沢宗哲に会って、「神界物語」を贈られて感激。
安政大地震・ 1855＝58歳：_帰宅するや、
松下村塾・・・1856＝59歳：「地震道中記」「太神宮靈験雑記」「地震用心録」「地震用心考」、
蕃書調所・・・1857＝60歳：「神界物語・後序」「痲痘疫病除富草考」「痲痘厄病除福草考」「天地開闢生植一理考」「靈夢記」、
五ヶ国条約・ 1858＝61歳：「貧富正論」「野夫拾遺物語」と、*一気に多数の著作を成して、没した。